

# まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 11 月 12 日(火)16:00～17:15

場 所： 阿野呂公民館

出席者： 5 人

## 1. 開 会

## 2. 町長挨拶

## 3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

## 4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

## 5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

### ■小学校の統廃合について

町 民 小学校の統廃合の関係を耳にする機会があるがどのような感じなのか。

教育長 配置計画検討委員会というのが開かれた。あくまでも配置計画だが将来的な展望に立って、特に PTA の方たちから急いでほしいという意見をいただいている。令和 9 年には継立小学校で一人、角田小学校が片手以下という状況に陥っていき、その後に栗山小学校も 30 人前後という時代がやってくる。36 人いないと 2 クラスにならないので、PTA からはスピーディーにやってほしいという意見が大半だった。地域の部分については、子どもの出生数を考えると致し方ないというのが継立・角田の多くの意見。将来的なことを考えれば栗山小学校の校舎は約 50 年経過しており古く、60 年、70 年ということにはならないので、早いうちから検討してもらいたいということ。先日、総合教育会議といって町・教育委員会による会議が開かれた。統合に向けて手順を踏んで、一つ一つ子ども身近な生活状況や保護者の取り巻く環境なども考えながら、栗山・角田・継立の 3 校を一つにするというところまで話し合った。あとは、議会との話し合いになっていく。

町 民 統合すると通学の問題がある。スクールバスとか充実してもらった中で、子供たちに不便をかけない、保護者が負担にならないようにしてもらいたい。どうしても栗山小学校のある市外へ行くとなると、1 年生とかが学校に行くのに 1 時間以上もバスに乗るのはどうかと思う。大人目線で考えてしまうと子供のことをないがしろにしてしまうことが多い。課題は通学だと思っている。

教 育 長 そのあたりもこれから。空知・全道の傾向を見ても小学校 1 年生で最大 50 分以下が基準。それでも最後の 40 分くらいになると寝てしまう。それを超える場合は個別に対策を練るのが一般的。そのあたりは地域の皆さんと十分話し合っ  
て決めていかなければならない部分だと思っている。それも議会との協議を進めてからになる。

## ■若い消防団員の運転免許について

- 町 民 栗山消防団角田分団の分団員は 19 名。昨年のたいせつの火災、つぎたてクリニックの火災でも出動した。今年の 4 月に若い団員 4 名入ってくれて助かっている。役場の 3 名も活躍してくれている。平成 29 年に運転免許の区分が変わり、今年入った団員含め 19 名のうち 5 名が消防車に乗れない。先日、私を含めた幹部 4 名、若い団員 4 名の 8 人で消火活動にあたった。その 4 人の若い団員は、みんな消防車（4 トン）を運転できる免許がなかった。消防署に行っても消防車に乗れない可能性がある。分団の消防車は平成 22 年の 4 トン車。この先 10 年は消防車が変わることはないと思う。この先団員が入れ替わっていくことになり消防車を運転できる団員がいなくなっていく。新しく入ってくる団員は消防車に乗れないので、何か方法を考えてもらいたい。
- 町 長 消防団活動にお力添えいただいて感謝。この問題は団の幹部会議での予算の議論の中で過去に出ていた記憶もあるので団の方に話を聞いてみたいと思う。

## ■曙団地の空部屋について

- 町 民 曙団地の空部屋が多いような気がするが住んでいる人の割合はどのくらいなのか
- 町 長 空部屋は 1 割ないと思う。9 団地で 600 戸近い部屋があるが、その内、入っていない部屋もあるが、建て替えのたびに実情に合わせて少しずつ縮小している。今の 9 団地目となる中里団地も 144 戸を 96 戸に減らしている。移住定住を進めるうえでも少し余分には作っているが必要以上には作っていない。

## ■これからの角田地区について

- 町 民 角田地区は空き地や空き家が増えたしお店がなくなったが、工業団地などの景観を見ると、まだまだ人が住んで生活するにはいいんじゃないかと思う。しかし、市街でないと物が買えないとか、交通の便の問題もあって不便を感じてしまう。将来を見据えると、子育てしやすい環境、街づくりが必要。病院が新しくなったり、くりふとができたり、栗山が活性化して住みたいまちになればいい。その中の角田地区というようになればいいと思う。
- 町 長 南部・中部・北部、南部地区は継立、中部地区は角田と、それぞれ規模の大きい小さいはあるが市街地形成があり、将来にわたって残していくという考え方は持っている。角田については、国道の 4 車線化、バイパス整備がされれば都市計画税を課税した中で再整備するという約束をしている。4 車線化はなかなか進んでいないが、今は、234 号に右折レーンのない交差点 9 カ所ありそこが拡幅されるように取り組んでいる。明日、地元の期成会で札幌開発建設部、明後日が北海道開発局、来週には上京し国交省へ要望してくる。

## ■緊急告知 FM ラジオの充電電池の耐久性について

- 町 民 携帯電話などとも同様に電池は使っていれば劣化していくと思うがどのくらい持つのか
- 総務課長 充電電池は 1,000 回といわれているが、使い方に左右されるので一概には言えない。充電電池は 2,3 日で切れてしまうので AC アダプタを常時接続のうえ使用してもらいたい。

## ■緊急告知 FM ラジオに不具合が生じた場合

- 町 民 緊急告知 FM ラジオは不具合があれば交換してくれのか
- 総務課長 不具合があれば交換する。電池はなくなっても AC アダプタをつなげておけば使用できる。